

来て

Kite

Mite

見

Niigatakenritsudaigaku

新潟県立大学!



地域振興は人づくりから—— 地域に根ざし、世界にはばたく

University of Niigata Prefecture

新潟県立大学広報誌

2014.7 No. 11

新潟県立大学ニュース



CONTENTS

卒業式・入学式	2
就職体験記・国家試験結果	3
卒業研究発表会	4
私の研究紹介	5
行事紹介	6
Campus Life	8
海外研修・留学	9
授業紹介・教員のFavorite	10
図書館・東京サテライト	11

■新潟県立大学の基本理念

○国際性の涵養

東アジアをはじめとする世界の人々との社会的・文化的交流を促進し、グローバルな視点からの教育研究を進めます。

○地域性の重視

郷土の自然・文化への理解をもって地域づくりや地域の共生を担う人材を育成し、地域社会に開かれた大学を目指します。

○人間性の涵養

豊かな人間性を培うために、学生一人ひとりに対してきめ細やかな教育を行い、学生同士が切磋琢磨し学び合う環境をつくります。

■学部・学科構成

男女共学 四年制

国際地域学部	国際地域学科	入学定員180名
人間生活学部	子ども学科	入学定員 40名
	健康栄養学科	入学定員 40名

卒業式 入学式

GRADUATION CEREMONY
ENTRANCE CEREMONY

第2回卒業式を挙行了しました

平成26年3月20日(金)、リューとびあにおいて第2期生の卒業式が挙行されました。

猪口学長から、「皆さんが、それぞれの場所でしっかりと根付き、国や地域を支える人材として、それぞれの分野で活躍されることを願うとともに、健康で充実した生活を送られるよう心から祈念します」とのメッセージが述べられました。



新潟県立大学入学式

平成26年4月8日(火)、新潟県民会館において第6回の入学式が挙行されました。

多くの保護者の臨席のもと、国際地域学部176名、人間生活学部80名(子ども学科40名、健康栄養学科40名)合計256名の新しい仲間を迎えました。

猪口学長から、「自分を見つめ、多くの良き師、良き先輩、良き友を得て、共に学び、汗を流し、この大学の歴史を積み上げてほしい」との式辞が述べられました。



就職



FINDING EMPLOYMENT

仕事に就いて1年

国際地域学科 1期生 弭間(はずま) 陽

私の職種は「貿易事務」といい、海外・国内工場からモノを仕入れるという仕事です。簡単に言うと「調達」です。現在は国内仕入れ・海外部品仕入れの担当をしています。この仕事に就いて1年、突発的に舞い込んでくる仕事や、納期の差し迫った仕事に追われるなど、慌ただしい日々が続いていますが、「焦りは禁物」と自分に言い聞かせて業務に取り組んでいます。上手くいかずに悩む事も沢山ありますが、その経験を活かして成長していきたいと思っています。在学生の皆さんも、学生時代にしかできない経験がたくさんあると思います。悩むことも、失敗も全て自分の糧になるとあって、大学生活をEnjoyしてください。

公立保育士の就職試験について

子ども学科 2期生 井上顕嘉

私が公立の保育士の採用試験の勉強を始めたのは、大学3年の春休みからでした。保育士採用試験の参考書を買って、繰り返し問題を解きました。色々な参考書に手を出さず、1つにしぼって集中する方が身につくと思います。オレンジ色のペンと赤シートは必須アイテムですね! 公立を受験する場合、自治体によって試験日や内容、難易度が違うので、しっかりと調べることが必要です。試験日が違えば、併願も可能です。周りの受験者のことも気になりますが、自分を信じて頑張ってください。きっと報われます!

就職活動と卒研

国際地域学科 2期生 古屋辰徳

セトラレーディング株式会社に就職しました。TOTOのグループ会社で、欧州の洗面器や水栓、バス製品を中心に扱っています。卒業研究で「トイレ」を扱った私にとって、若干方向性がずれたように見えますが、そうではありません。もともとインテリアや家具メーカー、家具の卸売業等も視野に入れていましたし、そうした場で、卒業研究でのトイレや排泄についての関心を活かさないかと考えた結果です。海外製品の輸入販売という業務では、大学で学んだ英語やインテリアやデザインへの関心を存分に活かせるのでは、と思いました。勿論、TOTOという大きな企業をバックに働けるのですから、私の卒業研究で得た知識も十分に役立つと思います。まだまだ人間も知識も未熟ですが、日々の学びを大切に、楽しく過ごしています。学生時代にできる事を余す事無く楽しんで下さい。無駄な事なんて一つもありませんよ!!

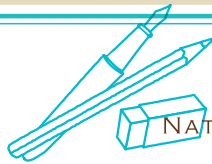
就活記録

健康栄養学科 2期生 乙川美由紀

私は、新潟県の病院局から内定をいただきました。入学当初から栄養教諭を第一志望としており、新潟県の病院栄養士という道はあまり考えていませんでした。しかし、今年度、たまたま求人が出たため、教員採用試験の力試しを受けてみようという気持ちで臨みました。実際に受けると、教員採用試験とは出題傾向も異なり教養試験では高校までの知識を問う問題が多かったです。4年間塾講師のアルバイトをしていたため、高校生までの知識は自分が現役の高校生だった時よりもしっかりと定着しており、落ち着いて解くことができました。

2次試験では、昨年他県の管理栄養士に合格した研究室の先輩のアドバイスをもとに志望動機や、自己PRを考えしっかりと準備して臨みました。結果として、第一志望であった栄養教諭試験は合格できませんでしたが、私の故郷である新潟県を盛り上げる職に就け、納得のいく結果になったと思います。

国家試験結果



NATIONAL EXAMINATION RESULT

社会福祉士国家試験

子ども学科 准教授 植木信一

全国の合格率が、27.5%(平成25年度)しかない難関の国家資格が社会福祉士です。子ども学科では、このような難関資格の受験にチャレンジしようとしている学生たちがたくさんいます。開学以来2回目の受験となる今回は、合格率77.8%(新卒者78.6%)で、14人(新卒者11人)の合格者を輩出することができました。この合格率は、全国216校中の第5位という好成績でした。難関試験をクリアした子ども学科の学生たちは、社会人になりましたが、社会福祉のプロとしてみな誇りに満ちた表情をしていました。

第28回管理栄養士国家試験

健康栄養学科 助教 石黒真理子

第28回管理栄養士国家試験が平成26年3月23日(日)に実施され、5月9日(金)に合格発表が行われました。本学科卒業生の合格率は新卒92.5%、既卒100%でした。全国の合格率は48.9%であり、管理栄養士養成課程(新卒)は91.2%、管理栄養士養成課程(既卒)は23.9%でした。新卒生、既卒生ともにそれぞれ就職活動や卒業研究、仕事などで非常に忙しい中、合格に向けて一生懸命勉強していました。卒業生のさらなる活躍を期待しています。

社会福祉士国家試験のための勉強

子ども学科 2期生 山本実央

大量の教科書に、分厚い参考書……初めて見た時、「!?」と思わずにはいられませんでした。多くの情報を一度に覚えるなんてことは、まずもって無理です。私の場合は「繰り返し」ことを重視し、何回も読み返したり調べたりしました。周りの友人達も、それぞれ自分に合った勉強のやり方を見つけ、熱心に取り組んでいました。時には複数人で「専門用語しりとり」をしたり、一人ずついくつか問題を作って、それを出し合ったり等、みんなでワイワイ楽しみながら勉強したこともあります。

実習に就職活動にと、1年間の前半は集中できず、焦りばかりが募りました。結局本腰を入れたのは秋になってからでしたが、潔く気持ちを切り替え、前述したような取り組みを日々重ねたことが、自分の「力」になっていったのだと思います。

おわりに。社会福祉士になるための勉強は、単に知識を身につけることだけではなく、自分の生き方や人とのかわりの考え方を見直すことにもなります。大げさに聞こえるかもしれませんが、これは本当です。福祉の道を志す人はもちろん、そうでない人にもぜひ学んでみてほしい世界だと、私は思っています。

卒業研究発表会

子ども学科

子ども学科 4年 渡邊千晶

先輩方の4年間の集大成である卒業研究発表会は興味深い内容ばかりでした。1年間をかけて先輩方が積み重ねてきたものが、私たちに分かりやすく伝わってきました。自分たちが4年生になった今、自分の興味のあるテーマを追求していこうという熱意に溢れています。先輩方のような素晴らしいしめくりができるように、より一層勉学に励みたいと思います。

子ども学科 准教授 石井玲子

平成26年2月14日に子ども学科の卒業研究発表会が行われました。4年生は、それぞれ関心のあるテーマに基づき、1年間研究を行ってきました。その研究成果の発表の場である卒論発表会では、各学生が与えられた時間の中で、一生懸命自分の研究について発表をしていただけて、友人がどのような研究に取り組んだのかがわかる素晴らしい機会となりました。

国際地域学科

国際地域学科 2期生 水島理穂

私は、『全国学力・学習状況調査の目的と実態～義務教育の質と今日促進をめぐる～』というタイトルで卒業論文を執筆しました。執筆の過程では、全国学力・学習状況調査の導入の際にどのような立場からどのような主張がされたのかを、国会や中央教育審議会などの様々な会議の議事録を整理したり、導入当時の内閣や教育に携わる組織の性格を分析したりすることで調査導入の目的を明らかにし、さらに調査が現在どのように扱われているのかといった実態を探るため、全国学力・学習状況調査に関する新聞記事やニュースを整理しました。執筆中はなかなか文章が書けず辛い時期もありましたが、卒業後、中学校で講師として働いてみると議事録整理だけでは見えてこなかったことも発見でき、このテーマで昨年1年間取り組んできて良かったと思っています。

国際地域学科 4年 田邊美緒

卒業研究発表会に参加することは、聴くだけで膨大なエネルギーを使います。多種多様な研究テーマをなるべく理解しようと頭をフル回転させるためです。1セッション終わる度に充実感と空腹を感じながらすぐに次のセッションに向かわなければいけないため、1日が終わるとすっかり疲労困憊しています。25年度卒業生の発表は、前年度よりも先輩方の研究テーマの幅が広いと、脳味噌が物凄く疲れました。しかし、その分だけ多くのものを得ることができたと感じ、研究への意欲となりました。

健康栄養学科

健康栄養学科 2期生 寺前光莉

私が卒業研究を通して学んだことは、研究の進め方や卒業論文の書き方はもちろんでしたが、卒業研究発表会に向けてのプレゼンテーションの準備、そして発表の仕方でした。発表用のスライドを作成する際、イメージがつかみやすいように色の使い方や構成を何度も試行錯誤しました。

また、就職活動や管理栄養士国家試験のための勉強もほぼ同時進行で行っていたので、限られた時間の中で優先順位をつけることが重要であると学びました。

とても基本的なことではありますが、このような経験は、これから社会に出たときに糧になると思います。



健康栄養学科 助教 玉木有子

平成26年1月13日(9:00~16:45)に健康栄養学科第2期卒業生(41名)による卒業研究発表会が開催されました。9分野(研究室)からなる卒業研究は全部で32演題となり、いずれも4年間の集大成にふさわしい内容でした。平成25年度は発表会に引き続き、卒業生と後輩たち、指導教員との交流の場が設けられました。緊張した雰囲気から一転し、交流会では和気藹々とした1時間余りを過ごしました。学年の垣根を越えて語りあえた貴重な時間は、盛会のうちに幕が閉じられました。



私の研究紹介



金世朗

国際地域学科

韓国語と日本語はよく似ているといわれていますが、使い方には多くの違いがあります。敬語がよい例です。韓国人は、親しくても相手の年齢が上だと敬語を使いますが、日本人は、年齢が上でも親しければ敬語使用を省く傾向があります。これはコミュニケーション摩擦の原因になります。大学院生のころは、日本人と韓国人の敬語使用に着目して、調査し、研究を行いました。韓国語教員をやっている今は、韓国語教材の分析や教材開発をする一方で、学習者がよく間違える誤用を分析して、韓国語と日本語の語彙や文法などの同異を明らかにすることに取り組んでいます。研究から得た結果は、学生たちの韓国語能力の向上に役立てればと願っています。



植木信一

子ども学科

児童の健全育成施策の分析を社会福祉学の立場から進めています。社会福祉学における日本の児童の健全育成は、児童館が担ってきたと言われてきました。それが定説でした。しかし、私の研究分析によると、全国の市町村のうち、児童館のある市町村は約6割にとどまっていることがわかりました。これでは、残りの4割の市町村においては、児童の健全育成が進められてこなかったこととなります。不思議なことですね。そもそも「健全育成」という言葉もなんだかあやしい概念だと思いませんか。「児童の健全育成」について、一度疑ってみなければなりません。

また、研究活動とは少し離れますが、児童福祉に関するボランティア活動も私のライフワークです。新潟市内のA児童センターを拠点として活動するボランティア団体には、20歳代から80歳代までの約70人のメンバーが参加しています。名前を「母親クラブ」と言います。不思議なことですね。なぜなら、男性である私もそのメンバーであり、さらにその団体の代表なのですから。



浅羽祐樹

国際地域学科

韓国(人)がよく解らず手に負えないという人が増えている。例えば大統領の竹島上陸。その含意やなぜそうするのかこちらには直ちに理解できないとき、「相手は非論理的だ」と決めつけるのか。それとも、相手にもそれなりに整合的な論理があり、理由付けがあるとみなす「合理的了解の原則(principle of rational accommodation)」に立つのか。異なる社会と文化の〈あいだ〉で「翻訳通訳」し、「外交」できる姿勢を身につけたい。



村山伸子

健康栄養学科

現在の研究テーマは大きく3つあります。1つめは、フィールドワークに基づいたアジア・アフリカの自然と食・栄養・健康の関連についての研究です。最近ではラオス、バブアニューギニアで、現地の人が食べている食事をもらってきて栄養成分の分析をしています。自然利用が多く、動植物の中でも特に昆虫を食べている集団を調査し、人間に必須の微量元素をどこから摂取しているのかを調べ、自然への依存度を測定しています。これにより森林等の自然がなくなることが、住民にどのような影響があるかを予測できます。

2つめは、バングラデシュの子どもの栄養改善のための介入研究です。バングラデシュでは子どもたちの低栄養が多いことから、NGOのメンバーとして学校給食を広げる活動をするのと同時に、その効果について研究しています。

3つめは、日本の社会経済的要因と食生活・栄養との関連に関する研究です。近年、日本でも社会経済的な格差が問題とされていますが、食生活や栄養にも影響しているのかについてはわかっていません。今後は、これらの研究をふまえて日本の栄養政策研究にも展開していきたいと考えています。

これらの研究は、栄養学のみでできるわけではなく、自然科学から社会科学にわたり、いろいろな分野の研究者との共同研究をしています。



ラオス

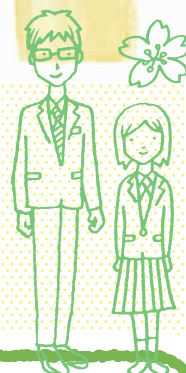


バングラデシュ

4月

新入生歓迎会

毎年90%以上の出席率で行われております。
 この会では、1年間の大学の流れやサークル紹介など
 新入生に役立つ情報を提供しております。
 また、新入生同士の交流の場にもなっています。



行

紹

学生自治会

新潟県立大学に在籍する学生が
 よりよいキャンパスライフを送れるように、
 イベントの企画や様々な補助を行います。

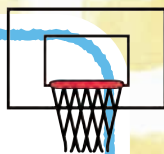


6

5月

体育祭

各学年、学科対抗で
 一日優勝をかけて競い合います。
 この日だけは、学年学科の垣根を越えて
 単戦うので応援にも熱が入ります。



3月

卒業パーティー

今年3月、県立大学からは第2回生が卒業
なさいました。4年間分の感謝を込めて学生
自治会やサークルの在校生が送り出しました。



事

介

10月

連花祭

去年、第4輪連花祭が無事に終了しました。
各学科、サークルごとに様々な模擬店や
出し物を行い、大変な盛り上がりを見せました。



Campus Life

キャンパスライフ



ロシア語でランチに参加して

国際地域学科 3年 小澤さやか

Здравствуй! こんにちは。第2回「ロシア語でランチ」が5月20日(火)の昼にSALCで開催されました。今回はロシアから留学生3人と、本学1~3年生12名が参加。そのうち7人はロシア語コースの2、3年生でしたが、今回は1年生も参加していてびっくり!「どうしてロシア語に興味を持った?」と彼らに聞くと、「なんかかっこいいから!」と答えていました。留学生3人を日本人学生の中に挟み、みんなが均等に留学生と話せるように工夫しました。1年生のほうから留学生に積極的に話しかける姿も見られました。ロシア語コースだけでなく、入学したばかりの1年生も一緒に留学生や先輩と交流できる、新鮮かつ楽しいイベントでした。



新潟で一人暮らし

国際地域学科 3年 中野 栞

車欲しいなあ。最近いちばんよく思うのはこれだ。自分がいま学生の身分にあるからこそ、なんだろうけど、新潟で一人暮らしするなら誰でも一度は頭に浮かんでくることなんじゃないか。だって、新潟って行ってみたいところがたくさんあるのだ。賑やかでモノに溢れてるところも好きだし、田んぼや山や海も好きだし、美味しいご飯やお酒に巡り合える場所も好き。こういうものが全部、無理じゃない範囲にある、それが新潟なんだと思う。実家にいない自分分で好きに使える時間は多い。その時間を目一杯使いたいから車欲しい。そういう気分させてくれる素敵な場所なんだ、ここは。



新潟での一人暮らしと学生生活について

子ども学科 2年 涌井 稜

昨年、新潟県立大学に入学し、地元津南町から新潟市へ引っ越して初の一人暮らしをしてから1年経ちましたが、この間に色々な経験をしました。最初は何事にもやる気に満ちあふれ、自炊も毎日みそ汁を作ったりなど昔は頑張っていました。アルバイトは生活に余裕ができてから始めるといいと思うし、1年生の時はたくさん遊んだ方がいいです。

学校生活ではキャンプやヒーローショーなどのボランティア活動に積極的に出たり、学生自治会にも入っていて、体育祭や学祭などの大きいイベントの準備・運営にも携わっています。授業は大変ですが、高校までの学生生活とはまったく違う新鮮で楽しいキャンパスライフを送っています。



私の休日の過ごし方

健康栄養学科 4年 平賀美咲

休日は、友人と海沿いをドライブしたり、お気に入りのカフェやレストランで外食したりと、その時の気分に合わせてのんびり過ごしています。晴れている日の海はとでもきれいで、夕方には日が沈む様子も見られるのでおすすめです。運がいいと野生のイルカも見ることができます! 4年生になり、管理栄養士国家試験に向けた勉強で忙しく、自分の好きなことに使う時間が限られてしまっていますが、休日は勉強のことを忘れて思いっきり楽しむようにしています。



海外研修・留学

カナダ ハリファックス



国際地域学科
3年 寒川遥花

ハリファックス英語研修の約1か月は、はじめこそ長いと感じていたものの毎日の生活が充実しており、あっというまに時間が過ぎました。早起きをしてバスに乗りドライバーさんに“Good day!”と見送られ大学で授業を受ける。ホームステイ先に帰ってマザーやルームメイトと映画を観たり雑談したり、放課後や週末は友達や現地の人と遊びに行く、という日々。日本との違いに驚くことや戸惑うこともありましたが、毎日誰かと笑って楽しく過ごせました。そしてカナダは常に何かを得られる環境でした。私にとってはむしろ英語というよりも他国の人との交流によって文化、考え方、生活の違いなどを知れたことが大きな収穫でした。時間のある学生のうちにこういった経験することは、きっと自身の今後に役立つと信じています。



9



アメリカ ミネソタ

国際地域学科
2年 五十嵐祐香

今年の2月から3月にかけてミネソタ研修に参加しました。私は小学生二人がいるダフィー家にお世話になりました。ホストマザーのナオミは日系アメリカ人です。家では日本語と英語が飛び交っていました。約1ヶ月のホームステイにあたり、最初は子供たちと仲良くなれなかったらどうしよう、英語がうまく出てこなかったらどうしようという不安がありました。しかし、子供たちは初日から「Yuka!」と笑顔でたくさん話しかけてくれます。心配していた英語も相手が意図を汲み取ってくれ、苦に思うことはありませんでした。この研修を通して感じたことは、恐れることなく果敢に挑戦することです。ミネソタで学んだことは帰国後も生かしていきたいです。



授業紹介

Principles of International Politics Workshop

Howard Brown (Associate Professor)

This class is part of the English-Medium Studies (EMS) module called International Studies in Politics and Economics so the class is entirely in English. The class has two parts. In the lecture, students learn about the principles and theories that explain international relations. Then, in the workshop, students apply what they learned in the lecture to real world case studies.

ポストコロニアル研究入門

国際地域学科 准教授 福本圭介

「ポストコロニアル」という言葉を皆さんは知っていますか？ ポストコロニアルとは、文字どおりには、「植民地後」を意味しますが、新しい人文・社会科学の用語としては、さまざまな場で現在も継続する「植民地主義」や「帝国主義」を問題化し、そのような状況から脱するためにそれに向き合おうとする態度や立場も意味します。したがって、ポストコロニアル研究とは、歴史を直視し、様々な意味で現在も継続するコロニアリズムに対抗しようとする学問的探究です。オムニバス形式のこの授業では、インド、韓国、ロシア、中国、日本、アメリカ合衆国、中東地域などの地域を横断する形でそのような学問的探究を行っていきます。

幼児体育

子ども学科 教授 伊藤巨志

幼児の運動や遊びを教えるためには、「初めてやる運動や遊びは、初めから上手くできない」ことを理解する必要があります。その為には、「観て、聞いて、やってみる」ことを繰り返し、自己の上達と達成感を体験する機会を課しています。例えば、ボールを蹴ったり、投げたり、トランポリンを使ってバランスをとったり等です。未経験の運動をすることは、自分の身体をコントロールする難しさを実感することができ、学生同士で教え合う機会にもなっています。

臨床栄養学実習Ⅰ(食事療法)とⅡ(栄養管理)

健康栄養学科 教授 金胎芳子

臨床栄養分野における管理栄養士は、医療チームの一員として傷病者の栄養管理を主体的に担うことが求められています。この実習では、食事療法を必要とする疾患・病態別にそれぞれの個人に対する治療食の栄養基準量や治療用特別用途食品を用いて実際に調理、試食、評価を通して症例を理解します。特に専門の知識・技術となる疾患別の献立作成とその食事展開は重要で、実習に取り入れています。臨床栄養学実習Ⅱ(栄養管理)では、傷病者の栄養状態の評価、判定に加えて栄養診断を行い、適切な栄養補給法や栄養ケアプランの技術について症例から学ぶことを重点にしています。



教員の Favorite

思い出の一冊

健康栄養学科 准教授 村松芳多子

2匹のねずみが作る“かすてら”を食べてみたい、と聞けば皆さんもわかるでしょう。ねずみのお話の絵本『ぐりとぐら』です。今も食べたいと思うことがあります。フライパンで焼くかすてら…小学4、5年生の時に、かすてら作りを試みましたが、満足できませんでした。たぶん絵本の中のリアルに描かれた動物たちと、一緒に食べるができなかったからだと思います。

食事は、友人・仲間・家族などとともに笑顔で仲良く食べられることが、幸福度につながっているのかもしれない。料理の腕も上達したはず？ですから、もう一度かすてらを作ってみます。



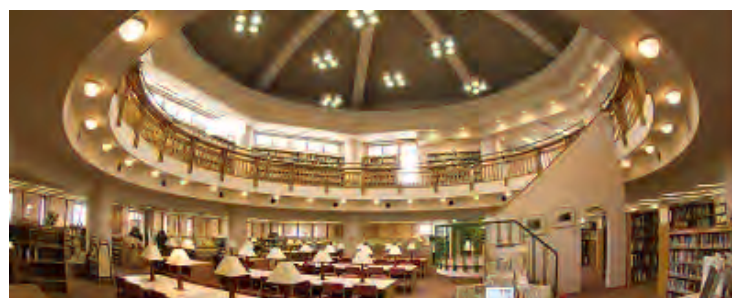
思い出の旅

国際地域学科 講師 鈴木均

2013年9月、現地調査のために訪れたドイツは総選挙の直前でした。滞在したベルリンの郊外では、移民が不法に住み着いた建物を取り囲んで移民排斥を叫ぶ黒服の団がいる一方、それに対してヘイトスピーチ反対を訴える地元住民が対峙し、緊迫。写真は環境政党の選挙ポスターで、ベルリン市のシンボルである熊を緑の党の色に塗り、ネオナチ排斥によって街を守ることを訴えています。(西)ドイツは外国人労働者を迎えることで戦後成長を支え、近年は血統主義を捨てて部分的に出生地主義を導入したのですが、いろいろと考えさせられる滞在になりました。



図書館が ますます便利に



開館時間を 延長しました

昨年度までは、【9時】開館としていましたが、1限開始前の利用を可能にするため、今年度から【8時30分】開館としました。ただし、夏休みなどの休業期間中は、従来どおり9時開館です。

貸出冊数を 増やしました

学生が1度に借りられる図書の冊数は【5冊】でしたが、こちらも今年度から【10冊】に変更しました。「保育実習で(絵本)をたくさん利用したい!」時などに便利です。

飲食スペースを 設置しました

図書館の外側の廊下にテーブルと椅子のあるラウンジスペースを設け、飲食ができるようにしました。勉強に疲れた時のちょっとした気分転換などに利用できます。

Satellite

東京サテライト

1

「公立大学こそが地域振興の鍵」と題し、 猪口学長はじめ4公立大学学長が記者会見

4月25日に日本記者クラブ(東京都千代田区)にて猪口学長のほか、公立はこだて未来大学(北海道)、三重県立看護大学(三重県)、高知工科大学(高知県)の各学長が出席し、「公立大学こそが地域振興の鍵」と題した記者会見が行われました。各学長は自校の特色や利点などをアピールされました。



2

実証政治学研究センターの活動

6月11日に東京大学山上会館にて新潟県立大学・実証政治学研究センターの運営委員会が開催されました。本センターは実証政治学における共同研究の学術的基盤づくりに貢献することを目指し、昨年度設置されたところですが、運営委員会では、今年度の運営方針と活動内容を決定しました。





編集後記

夏本番を前に、新潟県立大学広報誌第11号を発行する運びとなりました。日々進化を続ける大学の姿を広く皆さまに見ていただくため、工夫いたしました。学生による年間行事の紹介にはじまり、卒業研究発表会や海外研修、ロシア人留学生を交えた交流イベントに至るまで、新旧様々な記事を盛り込みました。また研究紹介や授業紹介等、これまでの定番コーナーの中では、カリキュラム改正等に伴って新しく着任した先生と、新設された科目の紹介に紙面を割きました。本学の「今」を知っていただく一助になれば幸いです。お気付きの点、ご意見がございましたらお寄せください。

■ 連絡先

新潟県立大学

〒950-8680
新潟市東区海老ヶ瀬471番地
TEL:025-270-1300
FAX:025-270-5173
E-mail:unp@unii.ac.jp

新潟県立大学 東京サテライト

〒113-0024
東京都文京区西片1丁目17番8号 KSビル9階
TEL:03-5803-6955
FAX:03-5803-6971
E-mail:unptokyo@unii.ac.jp